

鳥取の事

伝統の技と新たな挑戦

鳥取の郷土玩具 [第8回]

人々の暮らしぶりや風土を豊かに表現したふるさとのおもちゃ「郷土玩具」。今回は、県認定の伝統工芸士が製作している個性豊かな郷土玩具の数々を紹介します。



北条土人形(加藤廉兵衛さん)

ふるさとのおもちゃ 郷土玩具

郷土玩具は、木、竹、紙など手に入れやすい身近な素材を用いて作られてきました。信仰、習慣、風俗から生まれたものが多く、その土地の生活や風土を豊かに表現しています。

これらは、子どもたちの日々の遊び道具として心や体の発達を育む役割を果たしてきました。また、厄除けや福を呼び込むお守りとされてきたものや、祭の様子をかたどったものもあります。今も広く愛されている鳥取県の代表的な郷土玩具のひとつ「流しびな」は、県東部地区に古くから伝わる民俗行事がルーツです。旧暦3月3日、災厄を人形に託して川に流し、一年間の無病息災を願います。



毎年、旧暦3月3日に実施される「もちがせ流しびな」行事

かつて、子どものおもちゃは、地域に伝わる郷土玩具が主流でしたが、明治大正時代になるとプ

おみやげとして人気 鳥取県の個性豊かな郷土玩具

「きりん獅子」は、県東部などの多くの神社に伝わる麒麟獅子舞の獅子頭を張り子面にした郷土玩具です。

因幡地方の郷土玩具が、明治から大正にかけて廃絶したのを柳屋の初代田中達之助が惜しみ、昭和初期に、木彫りだったきりん獅子を張り子で復元・創作しました。現在は、二代目田中謹二さん、宮子さんがその伝統を受け継いでおり、流しびなやお面、人形の張り子なども製作しています。



きりん獅子(柳屋)



張り子の虎(柳屋)

県内の郷土玩具に 会える場所

祐生出合いの館(南部町)

南部町緑水湖畔にある「祐生出合いの館」は、板祐生(1889~1956)が製作した孔版画作品と、生涯をかけて全国各地から蒐集した郷土玩具、ポスター、お菓子のラベルなどが展示されている博物館。そのうち郷土玩具のコレクションは約2000点、県内の郷土玩具も2000点以上所蔵されています。郷土玩具は明治から昭和初期にかけて蒐集されたもので、現在は作られていない貴重なものも数多くあります。また、郷土玩具を愛した祐生は、古い玩具がすたれることを予見し、その姿を写し取って孔版画に残しています。郷土玩具と孔版画を一緒に見ることが出来るのも博物館の魅力のひとつ。ぜひお出かけください。



鳥取県の郷土玩具。首き人形の復元品(左)、きびから姉さま

着せ替え遊びとして用いられた首人形の孔版画

「祐生出合いの館」 南部町下中谷1008 [問合せ先] 電話 0859-66-4755

木彫人形十二支 (おぐら屋(岩美町))

約200年前、木地師小椋佐兵衛が、挽物(※)を製作したのが始まりで、現在は、その流れをくむ九代目小椋昌雄さんが、従来の挽物に独創的なデザインと技術を加えた木彫人形十二支を製作しています。「木彫人形十二支」は、全体を挽物細工で作り、泥絵具であざやかに彩色したもので、素朴な中にも斬新な趣があり、昭和39年には年賀切手の図案に採用されました。また、来年の年賀はがき(絵入り鳥取県版)の絵柄には、「木彫人形十二支」のうち、干支「卯」が描かれています。

※つくりこみを使用して木を丸く加工して作る製品



木彫人形十二支(おぐら屋)

はこた人形 (備後屋(倉吉市))

「はこた人形」は、桐の木型に和紙を張り重ね、張り子を型から抜き取り、胡粉で下地を塗り、泥絵具で彩色し、かわでつや出しをした張り子細工です。天明年間(1778~81)に備後の国から行商にきた備後屋治兵衛が、倉吉の素朴でつましやかな娘に惹かれ、これを人形にしたといわれており、現在は、備後屋六代目三好明さんが製作しています。



はこた人形(備後屋)

北条土人形 (加藤廉兵衛さん(北栄町))

県中部に伝わる土人形の歴史は古いのですが、人形作りに携わる人は時代の流れとともに絶えていきました。北栄町の加藤廉兵衛さんは、終戦後、民話や伝説など身近で親しみのある題材で土人形を作りはじめ、その種類も百を超えるようになり、成型、素焼き、絵付け、箱詰めまでの工程を一人でこなしています。



風神・雷神(加藤廉兵衛さん)

土鈴 (因州若桜焼(若桜町))

土鈴の歴史は大変古く、古来より、魔除けの力を持つといわれ、祭礼に用いられてきたようです。現在は、因州若桜焼の大坪英治さんが、ふるさとの歴史や祭礼縁起など地域にちなんだ土鈴や干支の土鈴などをひとつひとつ手作りで製作しています。



おしどり土鈴(因州若桜焼)

大注目! 郷土玩具

素材でかわいらしく、愛嬌のある郷土玩具は、その土地を情緒豊かに表しており、お土産やオブジェとして人気があります。展示会などで鳥取県の郷土玩具を一度手にとってみてはいかがでしょう?

わらべ館(鳥取市)

鳥取市にある子どものおうたとおもちゃをテーマにした「わらべ館」。おもちゃの部屋では、14のテーマ別におもちゃの展示をしています。テーマのひとつ「郷土玩具」コーナーには、各都道府県を代表する郷土玩具がスワリ。「からくり」「干支」「折り」などのジャンル分けをした玩具が展示してあります。

また、12月16日からは、来年の干支「卯」の郷土玩具を全国から集めて企画展を開催。見るだけでなく、出品の人気投票や工作など子どもも楽しめる体験参加型のイベントも盛り込まれる予定です。



鳥取県の郷土玩具展示の一部

「わらべ館」鳥取市西町3-202 [問合せ先] 電話 0857-22-7070

詳しくは...

- とりネット 「とどりの手仕事」(手仕事全般) <http://www.pref.tottori.lg.jp/teshigoto>
- 「とどりの工芸品」(伝統的工芸品) <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=955598>
- パンフレット「鳥取の手仕事」(鳥取県市場開拓室発行)をご覧ください。

問合せ先 県庁観光政策課 電話 0857-26-7237